

難しい夫婦のコミュニケーション

不妊治療は不妊の原因が男性側にあっても、女性側の負担が大きくなります。妊娠をして出産をするのは女性なので、こればかりは仕方のないことかもしれない。中にはご夫婦揃って通院されている方もいらっしゃいますが、毎回というのは難しく、どうしても妻が一人で受診する機会が多いのではないかと思います。

結果的に夫は妻の話聞いて、妻が直接体験したその日の出来事を間接的に想像することになります。どんなに詳しく上手に説明しても、直接と間接の間には大きなギャップがあります。また、妻にとってその日の体験が辛いものであった場合、それを詳しく報告することは辛い体験の再体験になる可能性があり、感情的になってしまったり、必要最小限の簡単な説明に終わってしまうかもしれません。

そうすると夫にとって妻の体験を想像することはかなり難しくなるでしょう。一生懸命想像を膨らませて、精一杯の労いの言葉をかけたいと思っても、残念なことに妻の期待するストライクゾーンに入ることは稀で、妻をがっかりさせたり、下手をするとさらに傷つけてしまうことにもなりかねません。

ではどうすれば良いのか。それは、お互いに自分の思いを忍耐強く伝え合うしかありません。どんなに仲の良いご夫婦でも、やはり言葉にして伝えないと本当のところはわからないのです。そして、相手は、似ているようでも、価値観も考え方も感じ方も全く違う人間であるということをお忘れなく。自分の当たり前は相手の当たり前ではないことの方が多い、それが普通です。